八王子市高齢者計画・第10期介護保険事業計画（素案）説明資料

1 計画策定の趣旨

高齢者人口の増加に伴い、医療と介護の複合的なニーズを有する高齢者や、認知症の人、ひとり暮らし高齢者等の増加が見込まれる一方、生産年齢人口の減少により、介護人材の確保が一層深刻になることが懸念されます。こうした人口構造及び地域社会の変化を踏まえ、中長期的な視点のもと、本市の高齢者施策及び介護保険事業の方向性を示します。

2 計画の位置づけ

法定の「市町村老人福祉計画」、「市町村認知症施策推進計画」及び「市町村介護保険事業計画」を一体的に策定し、本市の高齢者行政全般の方針や施策を定めます。　【計画期間：令和９年度（2027年度）～令和11年度（2029年度）】

3 計画の概要

本計画は、2040年を見据えた中長期的な視点のもと、基本理念、施策の柱、16の「目指す姿」、14の施策分類・共通基盤及び4つの重要テーマで構成しています。

基本理念：誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる、未来につながるまち

● **基本理念の実現に向けた施策の柱**

柱①「安心」　出逢い、つながり、支えあう地域づくり
柱②「希望」　やりたいこと、なりたい自分をあきらめない環境づくり
柱③「未来」　世代を超えて信頼できる制度づくり

● **目指す姿及び施策分類**

16の「目指す姿」及び14の「施策分類」を設定（裏面参照）

● **共通基盤**

「DX・EBPM」を施策の推進に当たっての共通基盤として設定

● **重要テーマ**

重点ア　成果指向型の介護予防の推進

高齢者が要介護状態となることを未然に防ぐため、データを活用した現状分析や取組の改善、多様な主体と連携したフレイル予防の推進など、成果を意識した介護予防施策の展開を図ります。

重点イ　持続可能な相談体制の構築

増加する相談ニーズに対応しながら、将来にわたって必要な相談支援機能を維持できるよう、関係機関の役割分担・連携の見直しを行うとともに、デジタル技術を活用した業務の効率化等を進めます。

重点ウ　本人の声を起点とした認知症施策の推進

認知症になっても自分らしく暮らし続けられる社会の実現に向けて、認知症に関する理解促進や相談支援体制の強化を図るとともに、早期発見・早期対応に向けた医療機関と連携した取組を推進します。

重点エ　介護サービス安定供給に向けた基盤整備

将来的な介護ニーズの増加・多様化に向けて、必要なサービスを安定的に供給できる体制を確保するため、介護人材対策や事業所の生産性向上を推進するとともに、施設整備を計画的に進め、介護サービス基盤の整備を図ります。

● **施設整備方針**

施設整備については、既存施設や既存サービスの有効活用を基本としながら、認知症高齢者の増加や地域包括ケアシステムの深化・推進に対応するため必要な施設の整備を進めます。

【計画期間中の施設整備目標】
・認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）６施設
・小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護　３施設
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護　若干数

4　計画の体系

基本理念から各施策までのつながりを示すとともに、施策分類や個別事業が主要に貢献する目指す姿と、副次的に貢献する目指す姿を示すことで、施策と成果の関係や、複数の施策が関係しあう構造を表しています。また、DX・EBPMは計画全体の共通基盤として示しています。



※各段を接続する線　実線：主に貢献、破線：副次的に貢献